

平成28年度事務事業評価（外部評価）最終結果表

No.	事業名	事業主管課	根室市外部評価委員会による評価結果					全体評価	外部評価委員の意見・コメント等	事業主管課による対応結果		
			個別評価（多数決結果）							対応結果	今後の対応結果（方針）等	平成29年度予算内容及び対応状況
			不要 (廃止)	民間	委託	要改善	現行 どおり					
1	子育て環境整備事業	総合政策部 少子化対策 推進室	0	0	0	5	0	要改善	<ul style="list-style-type: none"> ■市民にマタニティマークの意味が知られていない現状もあるので、市民周知を積極的に進めて欲しい。 ■マタニティマークに加え、マタニティストッカーとの併用により、事業効果が高まると考える。 ■公共施設のみならず民間企業の協力が得られるよう予算措置をしていただきたい。 ■マタニティマークを公園など設置する場合は、段差解消など周辺整備も必要 	改善	<ul style="list-style-type: none"> ■マタニティマークは、母子健康手帳の交付時にステッカーを配布するなど、妊産婦や子育て世帯に対する広報が中心となっているため、マークを使用する方以外に対しても、広報紙やHPなどあらゆる機会を通じて周知を図るとともに、民間企業におけるマークの設置に向けた取り組みを検討する。 ■マタニティマークの設置を進めるとともに、公共施設へのペーシートの整備など妊産婦や子連れの方が訪れやすい環境整備を進める。 	<p>【平成29年度】既設公園整備事業 660千円 【平成28年度】子育て環境整備事業 1,613千円 (比較増減) 953千円減</p> <p>■施設の改修工事等を行った平成28年度より減額となっているが、公共施設へ妊産婦が訪れやすい環境整備は継続するため、新年度においては、既設公園整備事業として、4公園6箇所の駐車場にマタニティマークを設置予定である。</p>
2	不育症治療費等助成事業	市民福祉部 保健課	0	0	0	0	5	現行 どおり	<ul style="list-style-type: none"> ■道央圏の医療機関でしか治療が受けられないこともあり、保健師の指導のもと、対象者に十分に活用していただきたい制度である。 ■少子化の進む中、全道的にも先駆けた事業であり、まだ、制度を知らない市民も多いと思うので、特定不妊治療と併せてより一層の市民周知を図り、出産・育児へとつなげて欲しい。 	現行 どおり	<ul style="list-style-type: none"> ■不育症の治療可能な医療機関が道央圏に集中し、交通費もかかるなど経済的な負担が大きい。不育症により子どもが得られない方の治療に係る経済的な負担を軽減することで、少子化・子育て支援施策の充実と安心して産み育てられることが出来る環境づくりを図ることができる ■事業実績は、平成27年度延べ3件と助成利用実績は少ないが、市民周知の強化を図り、必要な方へ必要な情報が届けられるよう周知に努めたい。 	<p>【平成29年度】不育症治療費等助成事業 1,050千円 【平成28年度】不育症治療費等助成事業 1,050千円 (比較増減) なし</p> <p>■市民周知について、現状の市HP、広報での情報提供のほか、新年度より、子育てガイドブックへの掲載、医療機関との連携強化、学生等を対象とした出前講座等を通じた情報の普及、各施設等でのポスター掲示など市民周知方法の強化を図る。</p>
3	特定教育・保育施設運営経費（延長保育）	市民福祉部 こども子育て課	0	0	0	1	4	現行 どおり	<ul style="list-style-type: none"> ■計画的に全ての施設で延長保育が実施されるよう準備を進め、保護者負担を軽減して欲しい。 ■保育に対する多様なニーズがあるが、女性の就労の増加で通常の時間で対応できない保育もある。利用人数により弾力的に対応願いたい。 ■働く親の面からは延長保育の必要性は十分理解できるが忘れてならないのが預けられる子どものケアである。19時までの時間が本当に必要な世帯なのか調査するなどして、今後の実施保育所の拡充に向けて取り組んで欲しい。 	現行 どおり	<ul style="list-style-type: none"> ■安心して子育てができる保育環境整備の推進については、保護者の就労及び子育てとの両立の面において必要であることから、今後の利用児童の推移を見ながら実施施設の拡充に向け、諸課題や保護者ニーズを踏まえ、総合的な検討を進める。 	<p>【平成29年度】特定教育・保育施設運営経費 1,342千円 【平成28年度】特定教育・保育施設運営経費 1,342千円 (比較増減) なし</p> <p>■新年度も引き続き同額予算措置するものとし、今後の利用児童の推移を見ながら実施施設の拡充に向け、諸課題や保護者ニーズを踏まえ、総合的な検討を進める。</p>
4	ブックスタート事業	教育委員会 図書館	0	0	0	0	5	現行 どおり	<ul style="list-style-type: none"> ■根室の誇る事業であり、今後とも継続して欲しい。赤ちゃんや保護者が絵本を介し心ふれあう愛情を深め、お話し会やセカンドブック事業へと発展し、つながっている。 ■根室に生まれた子ども達全員を対象にしている公平性もあり内容も良い。何より絵本に触れるきっかけ作りになっていて大変良い。 ■とても素敵な事業だと思います。7ヶ月検診時というタイミングもすごく良い。 	現行 どおり	<ul style="list-style-type: none"> ■事業内容・対象時期等についての高い評価と、委員全員一致で「現行どおり」という判定をいただいた。継続すべきという多数の意見のもと、今後についても現行どおりブックスタート事業を継続し、乳幼児親子が絵本を介したふれあいを深めることができる環境づくりと普及事業を進めていきたい。 	<p>【平成29年度】ブックスタート事業 454千円 【平成28年度】ブックスタート事業 374千円 (比較増減) 80千円増</p> <p>■新年度の予算増額分については、単価の増によるものであることから、実質的に据置となるもの。引き続き乳幼児親子が絵本を介したふれあいを深めることができる環境づくりと、小さいうちから読書習慣の形成を図る。</p>
5	みらいのアスリート応援事業	教育委員会 社会体育課	0	0	0	5	0	要改善	<ul style="list-style-type: none"> ■予算増額していただいた対象者、団体を拡大していただきたい。補助額も増額されていますが、自家用車の利用を認めていただきたい。 ■子どもに夢や希望を与え、保護者負担を減らす有意義な事業であり続けて欲しい。手続きの簡素化や自家用車利用の検討が必要 ■根室はどこに行くにも交通費がかさむが、未来の根室の子ども達のためにも、補助の拡充を求めます。 	改善	<ul style="list-style-type: none"> ■対象者、団体の拡大、手続きの簡素化や自家用車利用、補助回数拡大については、平成30年度に向け改善を検討したい。 	<p>【平成29年度】みらいのアスリート応援事業 4,000千円 【平成28年度】みらいのアスリート応援事業 4,000千円 (比較増減) なし</p> <p>■新年度も引き続き同額の予算を措置し、対応するもの。なお、市民や外部評価委員会での意見を踏まえ、平成30年度からの制度改善に向け、平成29年度中に検討を進める。</p>

平成28年度事務事業評価（外部評価）最終結果表

No.	事業名	事業主管課	根室市外部評価委員会による評価結果					事業主管課による対応結果					
			個別評価（多数決結果）					全体評価	外部評価委員の意見・コメント等	対応結果	今後の対応結果（方針）等	平成29年度予算内容及び対応状況	
			不要 (廃止)	民間	委託	要改善	現行 どおり						
6	自主防災組織活動活性化事業	総務部 総務課	0	0	0	4	0	要改善	■ 防災出前講座などの回数を増やし、アクションを起こして防災に対する市民の意識を平均したレベルで高められるような内容が必要である。 ■ 防災士の育成について、市が積極的に育てようというところも見てこないのが、活動の認知度を上げる工夫を主として取り組んでいただきたい。 ■ 自主防災組織の活動に対する助成金では、訓練については各団体が差が生じる。備品については余すところ無く各組織に行き渡るべきである。	改善	■ 防災出前講座などの啓発事業については、自主防災組織をはじめ様々な団体を対象に継続して実施し、地域防災講演会や広報ねむろなど幅広く啓発することにより市民一人ひとり、そして市全体としての防災意識の向上を図る。 ■ 防災士の育成については、平成28年度より地域防災推進員制度を開始し、推進員の育成研修の1つとして防災士の資格取得を位置付け、その経費を助成しているが、今後更に地域の防災リーダーの方々を推進員に委嘱し、育成を図るとともに、その活動を広く周知しながら地域防災力の向上を図る。 ■ 自主防災組織の自主的な防災活動への助成金については、広く活用が図られるよう制度の更なる周知のほか、団体等の防災活動のより一層の促進に繋がる制度となるよう必要に応じ見直し検討を行う。	【平成29年度】 自主防災組織活動活性化促進事業2,783千円 【平成28年度】 自主防災組織活動活性化促進事業2,789千円 (比較増減) 6千円減 ■ 今年度も引き続き現行どりの実施内容とするものであり、予算の減額分については、対象世帯数の減少によるものであることから、実質的に据置措置となる。なお、自主防災組織を対象に結成後の具体的な取組事例を学ぶ場として活動研究会を新たに実施予定であり、これらを通じて、自主防災活動組織の活動活性化に向けた取り組みを推進する。	
7	交通安全対策事業	市民福祉部 市民環境課	0	0	0	4	0	要改善	■ 交通事故が減少する様々な事業を実施して欲しい。高齢者対策の事業も良いと思います。 ■ 自転車用ヘルメットの貸与に関しては、装着率が低い。学校側との連携を強化して装着率の追跡が必要である。 ■ チャイルドシート購入支援と自転車用ヘルメット貸与では、交通共済加入の有無で差が出るものと出ないものがある。交通共済の中で運営しているのであれば、もう少し見える化するのがあるか、あるいは、市民全員に行き渡るものであれば税金投入する方法もある。	改善	■ 交通共済制度を活用した交通安全対策事業が、総じて市民に充分浸透していないと考えられるため、交通共済制度や事業実施状況等について、市ホームページや広報ねむろ等の様々な広報媒体により、これまで以上に市民に周知徹底を図る。 ■ 交通共済掛金や過去の剰余金を積み立ててきた基金を有効に活用し、交通共済運営委員会の意見を尊重しつつ、交通事故被害者を救済するとともに交通事故の撲滅に向けた効果的な事業を推進する。なお、各種事業の積極的な活用をPRするとともに、実態把握に努め、その結果を公表するなど改善について検討する。	【平成29年度】 交通安全対策事業 974千円 【平成28年度】 交通安全対策事業1,605千円 (比較増減) 631千円減 ■ 単年度事業である交通安全マップの作成を行った平成28年度より減額となっているが、重大事故の防止対策として、75歳以上の高齢者による運転免許証自主返納者を対象とした、運転経歴証明書発行手数料助成及びハイヤー利用券助成を新たに実施するものであり、実質的に事業拡大したものと。	
8	エゾシカ有害生物駆除事業	水産経済部 農林課	0	0	0	0	4	現行 どおり	■ 歯舞地区での実施も検討していただきたい。市内等に出る鹿にも何らかの対策が必要と考えます。 ■ 安定して事業を継続するためにも、猟友会に対する会員増強対策が必要である。 ■ 処理施設や狩猟する人員に限界があると思うので継続しながら効果を期待するのが妥当と考えます。	現行 どおり	■ 「根室市鳥獣被害防止計画」及び「根室市緊急捕獲計画」に基づきエゾシカによる被害防止対策事業を継続的に実施する。 ■ 捕獲体制の強化策・効率的な捕獲方法等については、関係機関で組織する「根室市鳥獣被害防止対策協議会」において検討する。	【平成29年度】 エゾシカ有害駆除事業 12,050千円 【平成28年度】 エゾシカ有害駆除事業 9,990千円 (比較増減) 2,060千円増 ■ 今年度予算は、オスの捕獲単価の増額及び捕獲体制の強化に向けた狩猟免許取得等補助金による助成件数の増加を見込んだもの。	
9	根室物産PR事業	水産経済部 水産加工 振興センター	0	1	1	2	0	要改善	■ パンフレットの効果として、どんな人が何を買ったのかなど、企業がどの程度売上げがあったのか調査する必要がある。 ■ パンフレットの目的をはっきりすべきである。もっとコンパクトなもので根室の商材を掲載し、あくまでも根室産品を知る事を目的にして、企業ホームページに誘導するとか知恵を絞る必要がある。 ■ そもそも、水産加工振興センターでこの仕事をやるのが酷ではないかと思った。請け負う部門が違つてはと思ったという意味で「民間」とした。水産加工振興センターはもっとやることがあるのかなと思う。	改善	■ 掲載企業に対して、一般消費者からの問い合わせ状況等についてのアンケート調査を実施することを検討する。 ■ 興味を持った商品を製造している掲載企業のホームページに誘導し、消費行動につなげるため、リーフレット中に掲載企業のURLにアクセスさせるためのQRコード情報を掲載する。(平成28年度版より実施) ■ 根室産水産物のPR・販路拡大を目的とした他事業との統合の可能性について、今後検討していく。	【平成29年度】 根室物産PR事業（水産加工品） 303千円 【平成28年度】 根室物産PR事業（水産加工品） 303千円 (比較増減) なし ■ 今年度予算については同額予算措置とし、事業内容等については、外部評価委員会での議論を踏まえ、事業者との調整を図りながら、引き続き改善を検討する。	
10	バードウォッチング観光推進事業	水産経済部 商工観光課	0	0	0	2	2	要改善 現行どおり	■ インバウンド受入のための環境整備等が必要とされる。また、「根室イコール野鳥観察」みたいなインパクトが薄い。 ■ 外国人観光客のためにもWiFi等のネット環境整備を行っていただきたい。 ■ 実績を十分にしている事業なので継続の後、改善点があれば改善が必要。	改善	■ インバウンド対応について、平成27年度は市有施設のWiFi化、平成28年度は野鳥観察舎「ハイド」の新設、施設の案内板等の多言語表記化など、受入環境の充実を努めてきた。 ■ 今後も観光協会や関係団体等と連携を密にし、バードランドフェスの更なる充実、また英語圏向けHPを作成し、「野鳥の楽園“ねむろ”」の効果的な情報発信など、インバウンドへのPR及び受入環境の充実を図り、グローバル観光の積極的な推進に取り組み。	【平成29年度】 バードウォッチング観光推進事業 4,207千円 【平成28年度】 バードウォッチング観光推進事業 4,060千円 (比較増減) 147千円増 ■ 今年度予算については、平成28年度に新設した野鳥観察小屋1棟の運用を開始するものとし、管理費が若干増額となったもの。	
経過概要			<ul style="list-style-type: none"> ■ 平成29年1月10日 第1回会議開催（委嘱状交付、概要説明、模擬評価） ■ 平成29年1月12日～19日 外部評価の公開実施に向けた市民周知（市HP・新聞等・ラジオ） ■ 平成29年1月20日 第2回会議開催（事務事業評価の外部評価を公開実施） 					<ul style="list-style-type: none"> ■ 平成29年1月26日 今年度予算に関する理事者査定 ■ 平成29年1月30日 評価結果を事業主管課へフィードバックの上、対応の検討と結果報告について指示 ■ 平成29年2月10日 事業主管課による対応結果及び予算状況報告 			<ul style="list-style-type: none"> ■ 平成29年2月22日 今年度予算案の公表 ■ 平成29年3月23日 今年度予算案の議会議決 ■ 平成29年3月28日 第3回根室市外部評価委員会開催（結果報告） 		